

【素材・化学分野】

日時：2008年9月17日(水) 15:00~18:00

終了後、交流会 参加費：2,000円 (ARECプラザ会員は無料)

場所：AREC4F (上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 TEL:0268-21-4377)



講演1

15:00~15:20

演題『科学技術振興調整費：若手研究者の自立的環境整備促進事業』

講師：信州大学 繊維学部 特任教授 山本 巖 氏

講演2

15:20~16:10

演題『ポリロタキサンと環動高分子材料を用いた材料の科学』

講師：信州大学 ファイバ・ナテック国際若手研究者育成拠点 ティュアトラック助教 荒木 潤 氏

概要

ポリロタキサンは直鎖状分子の軸が多数の環状分子を貫いた形状を有する超分子の一種である。ポリロタキサンの環状分子部位を架橋して調製した材料は環動高分子材料とよばれ、架橋点が自由に動くため種々の新規な物性を発現することがわかっている。近年、大量合成法や種々の修飾法の開発によってますます広がりを見せているポリロタキサンおよび環動高分子材料の応用例について紹介する。

講演3

16:10~17:00

演題『何が分るの散乱法？』

講師：信州大学 ファイバ・ナテック国際若手研究者育成拠点 ティュアトラック助教 佐藤 高彰 氏

概要

小角X線散乱法を中心とした「散乱法」は様々なナノ材料系の構造評価に不可欠の手法である。しかし、現状では、材料科学分野の研究者や技術者にとって必ずしも分かりやすい方法論とは言い難い側面もある。本講演では、ミセル、リポソーム、蛋白質、医療応用に特化した生体ナノ材料群などを事例に挙げ、散乱データを「より直観的かつ精度の高い実空間描像」へ焼き直す最新の手法について分かりやすく解説する。

- 休憩 -

講演4

17:10~18:00

演題『水系インクジェットインクに要求される諸特性』

講師：セイコーエプソン株式会社 機器要素開発部 主査 矢竹 正弘 氏

概要

水系インクジェットインク、特にコンシューマー・ビジネス用のインクジェットインクに要求される堅牢性、吐出安定性、保存安定性等の諸特性について、事例を示しながら説明する。また、染料インクと顔料インクのそれぞれの特徴について比較データを示して解説する。

お申込先

ARECプラザ宛 メール (mousikomi@arecplaza.jp) またはFAX (0268-21-4382) でお申込み下さい。

ARECプラザ 第92回リレー講演会 参加申込書

[H20年9月17日(水)]

企業名

参加者名

所属・役職

TEL

FAX

E-mail

交流会

参加 ・ 不参加

参加者名

所属・役職

TEL

FAX

E-mail

交流会

参加 ・ 不参加

ご記入いただいた個人情報(御社名/所属/役職/氏名)は参加者名簿として、参加者の方々に配布する予定です。